

中部支部だより

第31号

令和元年6月1日発行
発行責任者 野村 彭彦

レイカディア大学同窓会中部支部
編集者 城尾 清一 加藤 一政

ご挨拶

中部支部支部長 野村 彭彦

支部長を務めさせていただいて1年が経ちました。この間、中部支部並びに四支部交流GG大会、親睦日帰り旅行（大阪堺）、平成31年度総会、また同窓会本部の各種事業や会議への出席など、分会長そして会員の皆さん方のご支援を得て進めることが出来ました。

会員の皆さん方は、それぞれがボランティア活動や地域活動に積極的に参画されています。さらに能登川分会では「ライティング・ベル事業」の支援、八日市分会では「ブログの見方勉強会」の開催、日野分会では、昨年から日野駅舎で毎月1回、「レイ大カフェ」を開店されるなど、各分会で独自の事業を実施されています。同窓会は、会員相互の交流を深めることも大切ですが、地域活動や学生募集など母校の発展、充実に寄与することも大きな役割であると思います。



平成から令和への節目の時に、支部長をさせていただいていることを重く受け止め、今年度も会員皆様のご支援ご協力を得ながら支部活動を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

中部支部の状況（会員数・役員）

平成31年3月31日現在

（敬称略）

分会名	年度当初 会員数	退会者数 () 訃報者内数	入会者数	現 会 員 数	分会長名	備 考
八日市	32	1 (1)	1	32	加藤一政	理 事
五 個 荘	4			4	野村彭彦	支 部 長
能 登 川	77	4 (1)	5	78	福永治夫	理 事
永 源 寺	3		1	4	城尾清一	副支部長
安 土	9			9	山本耕三	理 事
日 野	12		2	14	木瀬昭子	会 計
竜 王	8	1	1	8	辻 充子	副支部長
合 計	145	6 (2)	10	149	うち長寿者は9名	

監 事 居原田金治（能登川分会） 畑中芳枝（竜王分会）

平成30年度中部支部事業活動報告書

年	月	日	事 業 内 容
30	4	12	平成30年度支部総会 於：能登川やわらぎホール
		17	中部支部新旧役員事務引継ぎ 於：能登川コミセン
	5	16	本部総会 於：草津校
		24	中部支部第1回役員会 於：五個荘コミセン
		30	本部理事会
	6	25	中部支部第2回役員会 於：五個荘コミセン 中部支部だよりの発行（第30号）
	7	13	本部常任理事会（引き続き法人化検討委員会） 於：ひまわり館
	8	2	中部支部第3回役員会 於：五個荘コミセン
		31	中部支部第4回役員会（延命荘）
	9	14	本部常任理事会（引き続き法人化検討委員会） 於：ひまわり館
		27	中部支部親善グラウンドゴルフ大会 於：やわらぎの郷公園

年	月	日	事 業 内 容
30	10	15	四支部親善グラウンドゴルフ大会 於：荒神山公園
		16	中部支部第5回役員会 於：延命荘
		31	中部支部親睦日帰り旅行 利休晶子 歴史のまち堺 再発見の旅
	11	15	地域活動事例発表会 於：ひまわり館
		27	本部常任理事会（理事会前法人化検討委員会） 於：ひまわり館
	12		本部「會報」発行（第35号）
31	1	11	中部支部第6回役員会 於：延命荘
		30	本部常任理事会 於：ひまわり館
	3	6	中部支部第7回役員会 於：延命荘
		11	本部常任理事会 於：ひまわり館

平成31年度中部支部事業活動計画書

年	月	日	行 事 名・場 所
31	4	11	平成31年度中部支部定期総会 於：延命荘
		24	平成31年度同窓会本部定期総会 於：草津校
	通 期		支部活動活性化の取り組み 中部支部役員会開催（随時）

年	月	日	行 事 名・場 所
	通 期		本部常任理事会等 於：ひまわり館
	行 事		支部活動の推進 ・支部だよりの発行（第31号） ・支部親善GG大会開催 ・四支部親善GG大会参加 ・日帰りバス旅行の開催 ・地域活動事例発表会（本部）参加

（収入の部） 平成30年度収支決算書・平成31年度予算書

単位：円

項 目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	平成31年度予算額	摘 要
前年度繰越金	117,400	117,400	152,892	前年度繰越金
本 部 会 費	67,500	66,000	70,000	140名
支 部 会 費	135,000	133,000	140,000	140名
活 動 費	430,000	375,500	440,000	日帰り旅行参加費 400,000円 中部支部GG大会参加費 20,000円 四支部GG大会参加費 10,000円 入会金交付金（本部） 5,000円 地域活動助成金（本部） 5,000円
そ の 他	30,000	54,000	0	総会会費
合 計	779,900	745,900	802,892	

（支出の部）

項 目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	平成31年度予算額	摘 要
本 部 会 費	67,500	66,540	71,000	本部会費（含振込料）
活 動 費	505,000	405,051	500,000	日帰り旅行経費 450,000円 中部支部GG大会費用 30,000円 四支部GG大会参加費 10,000円 会旗購入 5,000円 入会金交付（所属分会へ） 5,000円
会 議 費	50,000	73,779	10,000	総会費用 他
交 通 費	1,000	1,000	1,000	会計監査 2名分
事 務 費	50,000	46,388	50,000	支部だより発行 40,000円 事務用品、コピー代等
通 信 費	10,000	250	10,000	郵送代
予 備 費	96,400	0	160,892	
合 計	779,900	593,008	802,892	

第11回地域活動事例発表会より

チーム 楽里（らくり）

①活動の内容を教えてください。

棚田に植えられた杉と桧を伐採し、その間伐材を利用してイスやテーブル等を作っています。作ったイスやテーブルは近隣の幼稚園・保育園3か所に寄贈しました。

②この活動を始めたきっかけは？

レイカディア大学米原校では大学2年目に、各グループで課題を設定して取り組む「課題学習」があります。「チーム楽里」は37期園芸学科の6名のメンバーで、この「課題学習」として取り組んだのがきっかけです。

③メンバーを教えてください。

課題学習に取り組む6ヵ月程前から、東近江市永源寺相谷町の山林で、L37里山クラブ（レイカディア大学米原校37期園芸学科の有志22名）として間伐等の作業をしていました。「チーム楽里」の当初のメンバーはそのうちの6人（城尾清一・富江清・村西俊雄・中川雄二・廣田由行・寺田仁一郎）で、平成28年（2016）1月からスタートしました、平成30年には新たに2人（加藤英男・松木喜代司）が参加し、平成30年11月からはL37里山クラブの全員で取り組むこととしました。

④活動場所は？

紅葉の名所で有名な臨済宗の大本山・永源禅寺の南500mほどの所、東近江市永源寺相谷町の山林で、元は棚田のあった場所が活動の拠点です。今から30～40年程前に国の減反政策で杉と桧が植えられ、その後一度も間伐されることのなかった場所ですが、今では明るい空間が広がっています。小さな谷川が傍を流れ、タツナミソウ・ササユリ・木イチゴなど山野草なども豊富で静かな環境です。



⑤活動をきっかけに変わったことは？

チームとして同じ作業を続け、一緒に昼食を取るなどして仲間同士の結びつきがより密接になりました。また幼稚園や保育園に出向くなど地域との結びつきが広がり、多くの子供達や親御さんたちに喜んでもらえることが活動の励みとなっています。

⑥大変だったこと、やりがいに ついて教えてください。

皆楽しみながらやっているのでも、大変だと感じたことはあまりありません。しいて言えば、ヤマビルに血を吸われることでしょうか。鹿やサルが里山にも頻繁に出没するようになって、暖かな間（おおむね5～10月）はヒルに悩まされます。血を吸われるだけで痛みも伝染病の心配もありますが、我慢できないほどの痒みが1週間ほど続きます。あとは、テーブルセットやベンチなどかなり重くなるので、幼稚園まで運ぶのが大変でした。それでも、子供たちの笑顔がそんな苦勞を吹き飛ばしてくれます！

⑦活動のモットーや今後の目標は？

「安全に・明るく・楽しく」がモットーでしょうか。寄贈した幼稚園の園長先生がたまたま他のメンバーの住んでいる近くの幼稚園に転勤され、「こちらの幼稚園にも（テーブルセットを）下さい」との事で、今後は他のメンバーの近くの幼稚園や保育園にも寄贈の対象を広げていく予定です。



子どもたちも自然の木で作った椅子やテーブルに触れて楽しそうですね！
テーブルセットやベンチに座っている子どもたちの様子

中部支部 会員メッセージ

石塔寺

八日市分会 27期 園芸学科（米原校） 池戸利夫

石塔寺は、聖徳太子が開創したとつたえられる天台宗の寺院です。石塔寺の山上には、石造三重塔を中心一万基におよぶ石仏・石塔が群集しています。この三造石塔は、阿育王塔と呼ばれており、インドのアショカ王が世界にばらまいた八万四千塔のうちのひとつと伝えられています。

この塔は、わが国に現存する石塔の中でも最大最古のもので、奈良時代初期ごろに建立されたと考えられます。其擅上に建つこの塔は、高さ7,5mと雄大なもので、花崗岩製です。韓国扶余の長蝦里の寒山寺跡三層石塔に類似しており、天智8（669）年に百済から渡来人が蒲生郡に移住していることから、これらの人々が建てたものと推測されます。



レイ大 卒業後

能登川分会 38期 園芸学科（米原校） 桂田昌彦

庭木の剪定技術を専門的に学びたくて入学したレイ大。その技術もさることながら同窓生との楽しい活動や盆栽・菜園にも及ぶ学習を楽しむことが出来た2年間でした。

卒業後は、園芸学科卒ではありますが「サポート隊 健康づくり学科」として現役生の支援や交流活動、また学生募集に携わっています。今年で6回目となる「在校生との交流&ゲーム大会」では、OBの居原田金治さんや野村彭彦さん方の強力な助っ人をいただいて2019年度も企画しております。また、米原校では希少なクラブ活動である「レクダン（レクリエーション・ダンスクラブ）」の存続について、39期生、40期生、そして41期生に再三のお願いをしているのですが、……。ここ2年休部を余儀なくされています。

能登川分会の38期生は、「のとがわ園」の潤いのある植栽をめざして、在学当時からの課外活動として先輩方や39期生の方々と一緒になって新谷稔氏のリーダーのもと取り組んでいます。20mにも及ぶ花壇や毎年の門松づくりは、年々バージョンアップして入所者だけでなく職員の方々にも楽しんでいただいています。

また、能登川の風物詩となっている年末の「ライティングベル」にも、レイ大OB能登川分会として、準備・後始末そして当日の「水車うどん」の提供までまちづくりに協賛しています。

＊【能登川分会々員状況 15期生から39期生まで 78名の会員】

再び学校へ

五個荘分会 41期 陶芸学科（草津校） 松 居 紘一郎

六年前、当時は陶芸学科の人气が高く、入学時抽選の可能性があった為、米原校健康づくりへ入りました。いつかは作陶をと思っていた所昨年学び直しの機会を得ましたので現在41期生として、草津校へ通学しています。

今年度新らしい試みで、履習生は12名、内課は、草津校陶芸8名、びわこ環境2名、米原校園芸1名、北近江文化1名です。必修科目には出席できませんが、選択科目及び、クラス活動への出席が条件となっています。

学科は現役生13名、履習生8名の計21名で選択科目時は3班に分かれ、神山先生及び39期卒業生の3名の助手先生に指導を受け、作陶に励んでいる所です。しかしカルチャーセンターの陶芸教室でない事は強調され、カリキュラムに則り、基礎から学んでいます。特に管理的な所（窯や納薬の管理手順等）を厳しく求められています。入学して半年になりますが、新しい仲間も出来、私にとって良い機会が得られたと感謝しています。

元服式

竜王分会 28期 文芸学科（草津校） 辻 充 子

今年も去る3月23日に「元服式」がとり行なわれました。

ここ鏡の宿は、義経ゆかりの地。義経元服の池があり、宿泊した白木屋跡、源氏の再興と武運長久を祈願したと云われる。鏡神社が（東山道ー中山道ー八号線と今に到る）沿道が歴史を語る。

この事にちなみ「元服式」は毎年行われる。町の内外、男女、年齢問わず、応募された方に依り挙行、装束に身を包み、鏡神社に参拝。

例年着付のお手伝いをさせて頂き乍ら、除々に高まる緊張感が伝わって来て、こちらも身が引締る。

「平成」から元号も「令和」に改まる今、これからの彼等に明るい時代をと願い乍ら元服式を一人でも多くの人に体験して貰い度と願っている。



平成31年度中部支部
定期総会（1部）
（2019.4.11）延命荘

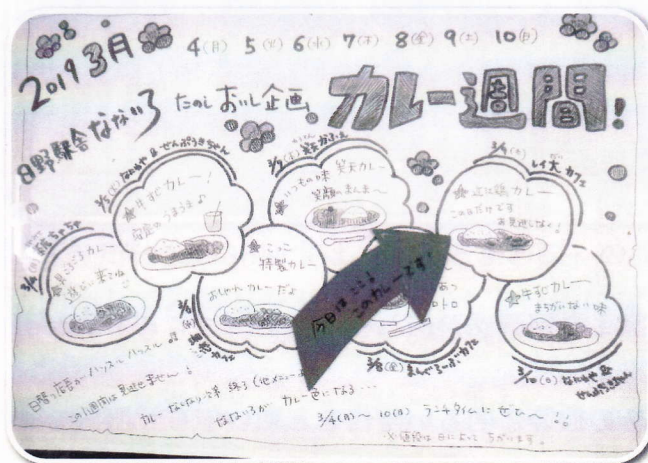


講演（2部）
演題「改元の今 平和を考える」
滋賀県平和祈念館 谷澤真也



日野分会レイ大カフェ

場 所：近江鉄道日野駅 駅舎「なないろ」10時から16時 日は主に第三月曜日



自分たちも楽しみ、来る人も楽しくひと時を過ごせる場所づくり

中部支部会則

第1条（目的） 本会は、会員相互の親睦を図り教養を高め、福祉の向上に資し、地域社会に貢献することを目的とする。

第2条（名称） 本会は、「滋賀県レイカディア大学同窓会中部支部」と称し、事務所を支部長宅に置く。

第3条（組織） 本会は、滋賀県レイカディア大学卒業生で、中部地区内の在住者をもって組織する。中部支部の範囲は、東近江市・蒲生郡・近江八幡市安土地区とする。

第4条（役員） 本会に、次の役員を置く。

1 理事 7名以上・監事 2名

2 支部長 1名 副支部長 2名（うち1名は女性） 庶務会計 1名

① 理事は、次の各分会（八日市・五個荘・能登川・永源寺・安土・日野・竜王分会）の長および支部長が委嘱した副支部長が就任する。

② 支部長は、分会長の中から理事会において選出する。

③ 副支部長および庶務会計は、支部長が委嘱する。

④ 監事は、理事会において選出され、会務・会計を監査し総会に意見を添えて報告する。尚、支部長の求めに応じて会議に出席する。

⑤ 役員は、総会において承認を得るものとし、任期は2年とする。

但し、再任は妨げない。補欠による役員の任期は残任期間とする。

⑥ 同窓会本部の理事は、3名選出し、うち1名は支部長（本部会則）とし、他の2名は原則副支部長とする。但し、年度の諸事情を考慮できる。

第5条（会議） 本会は、毎年1回総会（代議員制も可）を開催するものとし、必要に応じて理事会（通称：役員会）を開催する。会議は支部長が招集する。

2 代議員は、役員会に於いて選出する。

第6条（事業） 本会の目的達成するため、講習会、研修会、レクレーション等を行う。本部の行う事業については、極力これに参加するものとする。

第7条（会計） 本会の経費は、年会費・特別会費・寄付金等を以て支弁する。

① 年会費は、1,000円とする。但し、88歳以上の者及び当該年中に88歳になるものは年会費を免除する。尚、年会費を免除されたとはいえ、会員資格を失うものではない。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり3月31日に終わる。

第8条（監査） 理事会は、年度末において活動報告書・会計収支決算報告書を作成し、監事の監査を受け、総会に報告しなければならない。

第9条（帳簿） 本会に、次の帳簿を備える。

会計簿・記録簿・役員名簿・会員名簿。

第10条（改廃） 本会則の改廃は、総会において出席者の過半数の議決を得るものとする。

以上

平成30年度 中部支部 入会者

(敬称略)

分会名	卒期	卒校	学科	氏名
能登川	39	米原	健康づくり	居原田 順治
	39	米原	園芸	今堀 きよ子
	39	米原	園芸	清水 千恵子
	39	米原	園芸	須田 進一
	39	米原	北近江	田邊 初美
八日市	39	米原	園芸	藤本 治
永源寺	39	米原	園芸	山川 平兵衛
日野	38	米原	園芸	布施 太一郎
	39	米原	北近江	福永 保
竜王	39	草津	地域文化	西村 明夫

平成31年度 長寿者（米寿）慶祝（昭和7年生）

(敬称略)

分会名	卒期	卒校	学科	氏名
能登川	20	米原	スポレク	田井中 達三
	20	米原	園芸	中村 正和
八日市	20	米原	スポレク	奥居 喜久子

※上記3名を含め長寿者は12名（能登川5名 八日市1名 安土3名 竜王3名）

平成30年度 訃報者

(敬称略)

分会名	卒期	卒校	学科	氏名
能登川	31	米原	生活	水谷 善一郎
八日市	34	米原	健レク	藤田 英夫

編集後記

平成から令和へ

平素は、中部支部活動に温かいご支援を賜り、誠に有り難うございます。

202年ぶりの天皇退位という形で元号が「平成」から新元号「令和」に改められ、中部支部だよりも発行第31号（令和初刊）となりました。

今後の活動計画にも皆様のご支援、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。